

# 二十五年度補正予算

## 予算特別委員会 Q&A

### 総務部

- Q** 予算が8・5%減である。類似市との比較はどうか。  
**A** 大型事業が少なくなってきたための減少。他市との比較は特色が違うので不明。
- Q** 土砂災害の資料作成の委託と反映の時期は。  
**A** 平成25年に委託実施。平成26年から反映する。
- Q** 市民税の市内企業の見込みは。  
**A** 中小企業や会議所への聞き取りで減額予想。
- Q** 電力関係以外の一般企業も厳しい予想なのか。  
**A** 全体の状況は回復基調とみている。
- Q** 合併10周年時に表彰など考えているか。  
**A** 平成26年の表彰を前倒しで行いたい。
- Q** 補助金一覧を見るとほとんどが減額になっているが。  
**A** 現状に合った見直しをしている。
- Q** 被災地への派遣や応援も研修になると思うがどう考えるか。  
**A** 平成24年に1ヶ月保健師を派遣した。今後もその時に考え結論を出す。

### 消防本部

- Q** 自主防災組織で神岡町が組織率が低い。組織率はどれくらいか。今後の対応や指導は。  
**A** 古川と河合は100%、宮川はかなりの地区。神岡は15地区中9地区。
- Q** 自主防災補助金の対象者は。  
**A** 自治区などの単位。町内などの連合でも可能。
- Q** 庁舎修繕費で神岡振興事務所と宮川振興事務所の今後の方針は。  
**A** 当面必要な費用である。神岡については耐震化と同時に他も検討中。

### 市民福祉部

- Q** 水槽のタンク容量は、時間的にはどれくらい放水できるのか。  
**A** 1500L、時間は5〜10分。その間に別ルートを保する。
- Q** 防火水槽設置で地元負担金70万円であるが、大きさは。  
**A** 地下式で水槽は40t。
- Q** 救急救命士は何名いるのか。  
**A** 消防本部に24名。内薬剤が12名、挿管が6名。
- Q** 交通事故出動時に備品、車両は十分そろっているのか。  
**A** 救急車と救助工作車を同時に出勤させて対応している。
- Q** 自主防災組織との連携と指揮系統はどうなるのか。  
**A** 火災現場では本部と団長で現場本部立上げ。本部は署で、団は団長から指示。

### 教育委員会

- Q** 処遇改善と利用しやすくするための改善。  
**A** 育英基金の貸付人数と総額は。
- Q** 貸付252名。総額3億2180万円。
- Q** 図書館の人員は。  
**A** 司書6名。内神岡2名。事務員6名。内神岡1名。
- Q** スキーリフト券補助120万円、全員分を予算化してあるのか。  
**A** 流葉337名、河合761名、合計1098名の実績から予算化
- Q** 高校生海外派遣、時期を変えるとか期間延長とか考えているか。  
**A** 4月以降に検討。生徒の声も聴いて時期をきめる。
- Q** 高校生海外派遣の人数内訳は。  
**A** 5名は市内の高校から選抜する。残り3名は市内から市街に通っている人を対象。
- Q** 給食のアレルギー対応は。  
**A** 申請に基づき除去食を準備している。

### 病院

- Q** 医師招聘事業に1200万円でコンサル委託とあるが実績などは。  
**A** 3世代同居世帯等支援事業補助金の内容は。
- Q** 3世代で住んでいる方が住宅をリフォームしたり、三世代で住むために増築される方に補助するもの。

### 企画商工観光部

- Q** 海外から日本へ来る旅行者を誘致する意味であるか。  
**A** 観光誘客宣伝事業の着地型補助金の実績は。
- Q** 19企画の応募があり、15事業が成立。小規模の誘客であったので35万円を旅行者者に補助した。
- Q** 国の補助事業で観光施策を実施したらどうか。  
**A** 町づくり協議会の各部会の提言を待つて補正予算で実施したい。

### 環境水道部

- Q** 可燃物焼却場が、1月から試験操業しているが、大気汚染やダイオキシンなどどのようにチェックしたか。

一般質問



池田 寛一 議員

問 再生可能エネルギーについて

答 低炭素社会の実現に向けて、積極的に事業展開

問 今回の予算に、再生可能エネルギーへの取り組みとして、個人住宅の太陽光発電システム設置に対する補助金、また、木質燃料を使ったストーブ等の購入に対する補助金が計上してあり、環境

Q 試運転中であるが、例えば正常に機械類が動くとか、燃焼温度が適切であるとか、灰の成分はどうか、排気はどうか、環境基準や施設基準を満たしているかを調整中である。

A クリーンセンターの総事業費と財源内訳は。

A 総額15億8千6百22万円である。財源内訳は、国費3億8千6百51万円、合併特例債11億5百80万円（7割を交付税で還元）一般財源1億1千44万円。



新クリーンセンター

対策、経済効果、山林の活用等が期待されることである。

一方、飛騨市の中山間地という地形や自然環境を考えた場合、市として小水力発電の検討をすべきと考えるが、本格的に調査をして取り組む考えはないか伺う。

◆市長

答 反原発の立場から、エネルギー調達の多様性

Q 焼却灰の委託先はどこか。

A 群馬県のウイズウエストジャパンと富山県の富山環境整備へ6ヶ月交代で処理をお願いしている。

農林部

Q かじか養殖の補助率は2分の1、とらふぐ養殖の補助率が3分の1である。観光資源として期待されるが2分の1にできないか。

A とらふぐ養殖については、3年間の継続補助であり、3分の1である。

問 足腰の弱いお年寄りにとって、ポニーカーは欠くことのできない存在となっている。河合・宮川町に運転手は10数人登

問 有償運送事業ポニーカーシステムの課題について

答 安定運営できるよう改善に努める

録されているが、実質的に対応できるドライバーは、1人〜2人というのが現状である。

運転手の皆さんは、ポ

Q 今後の「とも補償制度」の考え方は。

A 新年度に立ち上げる農業支援センター協議会の中で協議し対応したい。

Q 国の治山事業予算が増額している。積極的に進めるべきでは。

A 区長会等を通じながら、実施場所の掘り起こしを行ない、要望していく。

基盤整備部

Q 都市計画街路整備について、J A 古川支店から飛騨信

ランテニア精神をモットーに行われているのであるが、待ち時間や燃料費の高騰を考慮し、さらに待遇を改善することが、運転手不足の解消とサービスの向上、また、やりがいにもつながると考えるが如何か。また、手助けが必要な方への対応が今まで以上に増加することが考えられるが如何か。

◆小倉総務部長

答 運転手不足と利用料金の見直しについては、利用者アンケートを実施

古川支店までの工事はいつ完成するか。完成したあとの整備構想はあるか。

A 26〜27年度で歩道整備を終え完了となる。将来道路網構想において検討中であり、構想の中では、1本は、JRを超える道路が必要と考える。

Q 消雪工事で宮城橋から察署までの計画はあるか。

A 上水道水源地の近くであり、水源保全条例にひつかかり、工事は難しいと考える。

◆谷澤市民福祉部長

答 住民意見を聞きながら各種介護サービスだけでなく、ボランティア活動や互助・共助も含め、地域特性に合った仕組みづくりを進めたい。

